

LEXUS TEAM ZENT CERUMO

2019 AUTOBACS SUPER GT Report

MOTEGI GT 250km RACE

第8戦 ツインリンクもてぎ

ZENT CERUMO LC500

#38 立川祐路／石浦宏明

◆11月3日(日) RACE

決勝結果 4位

11月2日(土)の公式予選では、立川祐路がいまひとつ納得のいかないタイムアタックとなったものの、6番手と上位グリッドを得た ZENT CERUMO LC500。2019年の最終戦である第8戦ツインリンクもてぎをいいかたちで終えるべく、LEXUS TEAM ZENT CERUMO は11月3日(日)の決勝日を迎えることになった。天候は薄曇りながら、雨の気配はない。ドライコンディションでのレースとなりそうだ。



決勝日も LEXUS TEAM ZENT CERUMO は慌ただしく過ごしながら、レースへの準備を整えていく。来季チームが使用する TOYOTA GR SUPRA のデモランを立川が行い、多くのファンにその勇姿を披露すると、午前11時55分からのウォームアップ走行で ZENT CERUMO LC500 のフィーリングを確認した。



午後1時30分のパレードラン、そしてフォーメーションラップに続き迎えたスタートで、ステアリングを握ったのは立川だ。まずはオープニングラップでポジションアップを狙うものの、混戦のなかで順位は変わらず、6番手で終えて

ZENT

LEXUS

TRD

BRIDGESTONE

PMU
RACING PADS

WAKOS

asics

RESEARCH

JMS

T-SELECT

TAMACHI

CABANA

トヨタ東大

BBS

SHOWA
BRAKE FLUID

MECHANIC WEAR

LEXUS TEAM ZENT CERUMO

いく。

1周目から上位争いが非常に激しい展開となっていくが、立川の眼前には序盤タイトルを争う#6 LC500 がつけるが、目まぐるしくポジションが変わるなか、7周目には2番手につけていた#23 GT-R が近づいてくる。他のレクサス勢同様に#23 GT-R をかわしてポジションを



上げたい立川だったが、#23 GT-R もペースが速く、なかなかオーバーテイクには至らず。17周に#23 GT-R をかわし5番手に浮上すると、立川はレース序盤ながら ZENT CERUMO LC500 をピットに向けた。

このツインリンクもてぎは集団が接近しやすく、バトルを展開しているとタイムロスもある。そのため、LEXUS TEAM ZENT CERUMO は早めのピットインでアンダーカットを狙う作戦を採ったのだ。ただ、この戦略はもてぎでの王道とも言えるもの。立川から石浦宏明に交代し、チームは迅速な作業で送り出すものの、#23 GT-R も同様の作戦を採っており、すぐ石浦の背後につけてきた。

しかし、冷えたタイヤでの戦いのなかで石浦は冷静にライバルを抑え込むと、今度は24周を終えてピットインした#17 NSX-GT との戦いとなっていく。フレッシュなタイヤでプッシュをかけてきた#17 NSX-GT だが、石浦はこのバトルも制し、レース終盤に向けてペースを上げていった。



LEXUS TEAM ZENT CERUMO は序盤の立川のステイントからのインフォメーションをもとに、わずかな修正を施して石浦を送り出していたのだが、これが奏功し、トップと同様のペースを保つことができた。この時点で石浦は4番手。少しづつ前を走る2番手の#36 LC500、3番手の#6

LC500 との差が近づいて来た。

チャンピオンを争う#6 LC500 と#36 LC500 の攻防は非常に激しいものとな

ZENT

LEXUS

TRD

BRIDGESTONE

PMU
RACING PADS

WAKOS

asics



JMS

T-SELECT

TAMACHI

CABANA

トヨタ東大

EBS

SHOWA
BRAKE FLUID

MVD
MECHANICAL WEAR

LEXUS TEAM ZENT CERUMO

ったが、これを#6 LC500 が制すると、石浦の前には#36 LC500 が接近した。レースは石浦の方が良さそうで、これを抜けば3番手。チームの頑張りに報いるためにも、表彰台は獲得したい。石浦は#36 LC500 を激しく攻め立てた。



しかし、チェッカーまで続いたバトルで#36 LC500 が最後まで粘りをみせ、石浦と ZENT CERUMO LC500 は4位でフィニッシュすることになった。精いっぱい出し切った結果だけに、立川と石浦、そして LEXUS TEAM ZENT CERUMO は充実の表情を浮かべたが、とはいえトップとの差があることも事実だ。

2019年の SUPER GT は終わりを告げたが、すぐに11月4日から2020年に向けたテストが始まる。チャンピオンを獲得できなかった悔しさをぶつけるべく、チームは一丸となって来季に向けて準備を続けていく。

ドライバー／立川祐路

「予選での遅れを取り戻せるよう、序盤からプッシュしていきました。オープニングラップからタイヤの状態も良く、スタートから手ごたえを感じていましたが、場所取りで行き場がなく、同じ順位のまま序盤戦を戦いました。そこからはなかなかオーバーテイクするチャンスには恵まれず、#23 GT-R と戦っていましたが、最終的に抜くことができたのは良かったと思います。もともとピットインを早めに行う作戦で、そこからは石浦選手がコンスタントにラップを重ねてくれました。最終的に表彰台には届きませんでした。来年に繋がるレースにはなっただと思います。来季クルマも変わりますので、もう一度最初からハードワークをこなして、チャンピオンを狙いたいです」



ドライバー／石浦宏明

「ドライバー交代を行った後の後半スティントを担当しましたが、アウトラップから#23 GT-R との勝負になり、非常に緊張感が高かったですね。その後は#17 NSX-GT との戦いになり



LEXUS TEAM ZENT CERUMO

ましたが、テール・トゥ・ノーズをなんとか抑えることができたと思います。その後は立川選手のステイントからの情報でバランスも調整してくれていたのペースも良く、#36 LC500 を先頭とする集団に追いつくことができました。自分のペースで走ることができたら、首位と同じかそれ以上のペースでは走れたので、できる限りのことはできたと思います。最終戦を表彰台で終えたかったので、抜けなかったのは悔しいですし、頑張ってくれたチームを表彰台をプレゼントしたかったところもありますが、トライした結果なので。シーズンを通してみると、ランキング4位ということで、取りこぼしがなければチャンピオンを争う実力はあったと思います。チームとしてしっかり反省すべき点を反省し、来季以降もトライしていきたいと思います」

立川祐路総監督

「まずは一年間、チームへの応援ありがとうございました。今季はシーズン序盤戦はいい戦いが展開できていたと思うのですが、後半戦でいまひとつかみ合わないレースが続いてしまいました。チャンピオン争いに最後まで残ることができなかったので、そこは申し訳ないですし、残念に思っています。この思いはチーム全員がもっているものなので、2020年にはもう一度ひとつになって、さらに強いチームを作り上げ、新たな TOYOTA GR SUPRA とともにチャンピオンを目指していきたいと思います。引き続きご声援よろしくお願い致します」

村田淳一監督

「今回は6番手からスタートしましたが、チーム、ドライバーともポテンシャルをしっかりと発揮してくれたと思います。戦略としては、早めのピットインでのアンダーカットを狙っていましたが、ライバルも同様の作戦を採ったので、大きなゲインにはなりませんでしたが、しかしレース後半にトップ3に追いつき、表彰台争いをできたので、最終的に表彰台には立てなかったものの、トップとの差が大きいわけではないことを示せたと思います。とはいえ、ランキングトップ2との差もあったことも事実ですので、レクサス勢のなかでの順位をしっかりと受け止め、彼らに追いつき、追い越せるようなチーム作りに引き続き取り組み、来季の開幕戦をいいかたちで迎えられよう、今から精いっぱい頑張っていきたいと思います。今年も応援ありがとうございました。そして LEXUS TEAM LeMans WAKO'S の皆さん、チャンピオンおめでとうございます」



LEXUS TEAM ZENT CERUMO



LEXUS TEAM ZENT CERUMO

決勝公式結果表

Rank	Car No.	CarName	Laps	BestLapTime
1	37	KeePer TOM'S LC500	53	1'39.502
2	6	WAKO'S 4CR LC500	53	1'39.372
3	36	au TOM'S LC500	53	1'39.169
4	38	ZENT CERUMO LC500	53	1'39.593
5	17	KEIHIN NSX-GT	53	1'39.432
6	1	RAYBRIG NSX-GT	53	1'39.070
7	19	WedsSport ADVAN LC500	53	1'40.500
8	23	MOTUL AUTECH GT-R	53	1'39.461
9	16	MOTUL MUGEN NSX-GT	53	1'40.634
10	24	REALIZE CORPORATION ADVAN GT-R	53	1'40.331
11	39	DENSO KOBELCO SARD LC500	53	1'40.823
12	64	Modulo Epson NSX-GT	52	1'40.086
13	8	ARTA NSX-GT	47	1'39.527
	12	カルソニック IMPUL GT-R	13	1'40.824
	3	CRAFTSPORTS MOTUL GT-R		

ZENT



BRIDGESTONE



T-SELECT



SHOWA
BRAKE FLUID



LEXUS TEAM ZENT CERUMO

2019年シリーズランキング

Rank	Car No.	CarName	Point
1	6	WAKO'S 4CR LC500	85
2	37	KeePer TOM'S LC500	83
3	23	MOTUL AUTECH GT-R	52.5
4	38	ZENT CERUMO LC500	46.5
5	39	DENSO KOBELCO SARD LC500	44
6	17	KEIHIN NSX-GT	39
7	36	au TOM'S LC500	38
8	1	RAYBRIG NSX-GT	37
9	3	CRAFTSPORTS MOTUL GT-R	36
10	8	ARTA NSX-GT	31
11	19	WedsSport ADVAN LC500	27.5
12	64	Epson NSX-GT	23.5
13	12	カルソニック IMPUL GT-R	17.5
14	24	フォーラムエンジニアリング ADVAN GT-R	17
15	16	MOTUL MUGEN NSX-GT	12

ZENT



BRIDGESTONE



T-SELECT



SHOWA
BRAKE FLUID

